

## ごあいさつ「清く 正しく 明るく」

福島県立視覚支援学校の Web サイトにアクセスいただき、ありがとうございます。

「清く 正しく 明るく」は、本校の校訓です。シンプルで力強いこの言葉からは、さわやかで素敵な人物像が浮かんできませんか？

私たちは、そんな人育ての理想のもとに教育を行っています。

本校は、明治 31 年に渋木重庵、高橋金七、長沢正太郎氏らのご尽力により、福島第一尋常高等小学校の一部に、私立福島訓盲学校として創立されました。その後、昭和 19 年に県立移管されて福島県立福島盲啞学校となり、数度の名称変更を経て現在に至っています。

今年 122 年目の歩みを進めている本校では、小学生から成人までの児童生徒24名が、より豊かな社会参加と自立をめざして、日々の学びを重ねています。

視覚支援学校は、様々な事情により「見え方」に困難が生じた人が学ぶ学校です。その困難を克服して社会の変化に主体的に対応できる力を身に付けるとともに、積極的に生きていくための豊かな心と健やかな体をもつ、調和のとれた人を育てることを目標としています。

そのために私たち教職員は、次の3つを重点に教育を進めています。

- 1 「確かな学力」を定着させるための授業改善
- 2 「豊かな人間性と社会性」を育成するための連携・協働と、体験活動や交流及び共同学習
- 3 「自分の健康を管理できる力」をつけるための家庭や医療・福祉との連携

そして、

この3つを意識し、重点として日々の教育活動を行うことで、

（児童生徒が）行きたい学校

（保護者が）行かせたい学校

（地域の方が）頼りたい学校

となることを目指します。

視覚支援学校は、視覚障がい教育の専門機関です。目に障がいのある児童生徒が、豊かな生活を送るための、適切で効果的な教育を行うことができます。

さらに、乳幼児の養育・子育ての不安や、事故や病気によって見え方に不安が生じた成人の方の、生活や社会自立に向けた相談などにも応じています。

私たち教職員は、視覚障がい教育の専門家としての自覚をもって研鑽に励むとともに、障がいのある方が、その持てる力を十分に発揮できるように、教育の充実と社会の醸成に力を注ぎたいと考えております。

今後とも、福島県立視覚支援学校に、ご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和2年 4 月

福島県立視覚支援学校長 橋本 淳一